

F A X 情報と資料提供をセットした会員制の医療情報提供システム

会員  
情報

メディア21

釧北海道医療新聞社

札幌市中央区大通西6丁目  
北海道医師会館

TEL 011(221)7777

FAX 011(281)2678

2020年10月27日（火曜日）第6268号

※複製などによる第三者への提供は著作権の侵害になります。

## 豊平区・札幌ライラック、人工呼吸器・透析患者のケア統一

豊平区の札幌ライラック病院（志田勇人理事長、本庄恭補院長・167床）は、人工呼吸器使用患者の治療方針を多職種で共有し、質の高いケアを提供している。

同病院では、管理職やスタッフによる「人工呼吸器透析ケア検討委員会」が、月1回の評価会議で治療方針を決定。人工呼吸器では、看護師とリハビリスタッフが患者の呼吸筋の耐久性について医師に情報を提供し、管理栄養士が効果的な栄養摂取メニューをつくるなど、スタッフ一丸で離脱を目指す。臨床工学技士立ち合いの下、人工呼吸器を装着したままでの食事やシャワー、外出機会の提供、リハビリスタッフが声の代わりとなるコミュニケーションツールの活用法を伝え、入院生活のストレス軽減に努めている。透析患者では、患者の「グーパー体操」に電気刺激を使用して維持・成長を促す「シャント成育リハビリ」で、詰まりや閉塞を防止。管理栄養士が、制限食に通常食と同等の満足が得られる工夫をこらし、食べる楽しみを提供するなど、患者のQOLとモチベーションを高めている。